

## ひかりのこつうしん「鈴木正敏先生教育講演会を終えて」

2020. 11

ひかりの子幼稚園・保育園

11/12に兵庫教育大学の鈴木正行先生をお招きして、  
「遊びの中の学び～未来を生き抜く力を子どもたちに～」  
と題して教育講演会が行われました。

先生は前回と同様に朝から保育室の様子をじっくりと見て回り、  
普段の子どもたちの行動や、先生たちの見守りにどんな意味があるのか  
親がどう接すればいいのかを、わかりやすく講演してくださいました。  
昨年の講演会のまとめの再掲載と、今年度のお話をご紹介します。

### 遊びの中から育つもの

思考力, 判断力, 表現力は, 遊びの中で最も効率的に培われる  
好きなこと, 得意なことからでしか, 子どもたちは学ぼうとしない  
遊び＝好きなこと, 楽しいこと　そこに友達がいる, 自然があつて 見守ってくれる大人がいる  
協同性や自己発揮は, 遊びを通して培われる  
同じ興味関心をもった仲間がいる, そこから共通の目標に向かって進むことができる  
達成感, 自己肯定感がそこから生まれる

### 遊びから幸せを見つける

良い環境の中で, 友達がいる, 自分を出せる場がある  
その中で好きな遊びに熱中することによって, 子どもたちは「幸せ」を見つけることができる  
そのことが, 子どもの将来を形作っていく

### 自由な遊びの大切さ

子どもは, 自らの興味関心に沿ったものから最もよく学んでいく  
教えられるものではなく, 自分のペースでモノ・人との関わりが獲得できる  
保護者が個々に寄り添うことで深い学びが得られる

### 人との関わりの中で育つもの

子どもたちの学びは, 人との関わりの中で生まれてくる  
さまざまな人と関わることで, 自信が生まれてくる  
お互いに支え合い, 育ちあう雰囲気生まれる  
そこから, 人間性が育まれる

### 資質・能力を育てる

「覚える」ではなく, 「考える」  
「競争する」ではなく, 「お互いに育ち合う」  
知識はあまり役に立たない時代がやってくる

## 今日の保育で子どもたちに育っている力とは…？



### 「3歳児、製作活動」

小さい細長い紙が何色もストックしてある製作コーナー。一回切りに挑戦したのは1学期…その後もずっと人気があり、一人でしたり、仲間を誘って繰り返し遊ぶ姿がある。「ぐっと集中する顔がいいですね！」(鈴木)  
**一つのことに集中して向き合い、困難を乗り越える力が育っている。**



### 「3歳児、机を片付ける」

先生たちがやってきたことを見ていて、片付けが子どもたち同士でできるようになっている。先生が「片付けて！」という前に自分たちで動いている。  
**コピーする力、マネをする能力が一番発達する時。**



### 「4歳児、礼拝の時間」

よくお話が聞けるようになる時期。1日の中で落ち着いた時間があることは素敵なこと。担任が心を尽くして言葉を尽くして祈っている。その言葉が子どもたちの心に残っている。「家に帰ってもお休みしている人のことを思って、祈る子どもがいることを聞いて驚きました。」(鈴木) **お互いがお互いを支えている。**



「イメージを持ってから劇遊びをする、4歳児」  
先生たちが「3匹のこぶた」の劇遊びをやって見せる。

「最後どうする？」  
物語の結末は「自分たちで考えてみようね！」  
**想像力や話し合う力が養われる。**



### 「5歳児、体育あそび」

先生の説明が簡潔で短いのがいいですね。(鈴木)  
待ち時間が少なく皆が常に活動しているのが良い。

**遊び感覚でバランス、コントロールする力、体力が身についている。**



## 鈴木先生のお話より

コロナになり予測不可能な時代となった。行事など今までやってきたことも「本当に意味があるのか」「子どもにとって大事なものは何か」と根本から考えないといけなくなった。

ひかりの子幼稚園でも運動会について内容を職員で何度も話し合い、保護者から「リレーを是非やってほしい」と要望があったと聞いている。

他園では「なぜ運動会を縮小するのですか？」「写真が撮れない」などの不満の声が多い中で、『卒園した兄姉を見ていて、リレーの活動は子どもの団結心、人を思いやる心が育ったことを確信した在園の保護者が「是非ともリレーをやってほしい」と言って来られたひかりの子の保護者は、質が高いですね！他園をたくさん訪問してきましたが、今年一番の感動です。』と鈴木先生はおっしゃっていました。

## 保護者の感想アンケート一部抜粋

「これからの社会がどんなに変化して予測困難になっても、自分で課題を見つけ、学び、判断して行動することは大切なことなのだなと感じました。」

「子どもの思いに寄り添い、楽しい！と思えることをたくさん経験するから、幼稚園が大好きになっていくんだなと実感しました。」

「日々バタバタと過ごしてしまいがちですが、私自身も楽しみながら、こどもの興味や夢中になれるものをたくさん見つけていきたいなと思いました。」

「園で学んだことが子どもの生きる力になって、その先の人生につながってほしいと思いました。主体性を育てるために幼児期が大事な時期であることを聞き、ひかりの子に通わせてよかったと思いました。」

「教育の成果はすぐに結果の出るものではないので不安になりますが、これからの学びの土台をしっかり作っていきなさいと思いました」

「今日の園での出来事を写しながら、子どもたちが学んでいることを具体的に説明していただき、わかりやすかったし、『力つけてるんやー！』と思いました。」

「子どもたちの笑顔が行事前、行事当日、見られる園ってなかなかないですよ。素敵ですね。」

「先生の話聞いて、もう少し気楽に子育てしていいんだと、肩の力が抜けました。」

## 講演会を終えて

午後からは職員研修があり、保護者への講演会の様子、さらに年長組担任からリレーの取り組みの実践発表があり、聞きあいました。

運動会を経験した子どもたちが何を学びどんな成長があったか、この次はどう育ってほしいのかを各学年が検討、討議し、その成長を踏まえて「クリスマス会」に向けて、各クラスで様々な活動に取り組んでいるところです。

その様子は各クラスだよりでお知らせしています。園庭の掲示板でも全クラスがご覧になれます。

コロナ禍でのクリスマス、世界中にイエスさまの愛と救しのご降誕が訪れることを信じ、私たちに神様から頂いている力を注ぎ、これからも保育にいそしんでまいりたいと思います。

園長 松本 直子